

取組みの考え方

- ◇ 本基本方針に基づき、構成メンバーが一丸となって全国的に海の大切さ・海事産業の重要性を広報するための事業（以下「関連事業」という）を展開する。
- ◇ 関連事業は、この基本方針に賛同する構成メンバー又はその会員が、自発的に実施する。
- ◇ 「海の日」・「海の月間」及び学校の夏休み（8月）を重点期間とするが、できる限り年間を通じて関連事業を展開する。
- ◇ 特に児童・青少年を対象とした関連事業の充実を図ることとする。
- ◇ 海の日の中核事業、海フェスタ等においては、国と民間が連携を図りながら一体として関連事業を実施する。
- ◇ 国は、民間における取組みの状況について、あらゆる機会を活用し、最大限のPRに努める。特に、見学会、体験型イベント等など参加者を動員する事業については、全体としての数値目標を設定・公表して実施する。

具体的な関連事業の内容

具体的な関連事業の事例としては、以下のようなものが考えられるが、各構成メンバーが、他のメンバーの取組み事例を参考にしながら、自由な発想により創意工夫を凝らした事業展開を図る。

事 例

- ◇ 造船所、船のキャビンの見学会、帆船体験乗船などの体験型イベント
- ◇ 海事関係の表彰の受賞者による講演、船長によるトークショー等海への理解を深めるイベント
- ◇ 海洋レクリエーション体験、海を舞台にしたコンサート、海や船の写真展・絵画展など海に親しむ機会を提供するイベント
- ◇ 副読本の作成など広報素材の作成・提供

「海事産業の次世代人材育成推進会議」構成団体による現在の取組み例

構成団体が19年度に実施する事業の例

(社) 日本船主協会

小学校教師を対象とした見学会

日本内航海運組合総連合会

内航船の乗船体験

(社) 日本旅客船協会

船から見る風景100選（コンテスト）

(社) 日本船長協会

「船長、母校へ帰る」
（子供達に海と船を語る企画）

(社) 日本造船工業会

「子供たちと港を語る事業」
（小学生向け出張公演）

(社) 日本中小型造船工業会

進水式の一般公開

(社) 日本舟艇工業会 等

ヨット・モーターボート体験乗船 等

(独) 航海訓練所

帆船を含む練習船の見学会

東京海洋大学

「夏休み！海鷹丸で海の科学を学ぼう」
（中学生の体験学習）

鳥羽商船高等専門学校

練習船による海洋体験教室